

千秀だより

横浜市立千秀小学校

4月号

平成28年(2016)4月 5日



支度(したく)

校長 市川幸男

支度

黒田三郎

何の匂いでしょう

これは

これは春の匂い

真新しい着地(きじ)の匂い

真新しい革の匂い

新しいものの

新しい匂い

匂いのなかに

希望も

夢も

幸福も

うっとり

浮かんでくるようです

ごったがえす

人いきれのなかで

だけどちよっぴり

気がかりです

心の支度は

どうでしょう

もうできましたか

平成28年度がスタートいたしました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。大きな期待とちよっぴりの不安を胸に登校してきた子ども達の笑顔を見るにつけ、目の前にいる子ども達の幸せな学校生活を願ってやみません。今年度も私たちに何ができるのか、学力はもちろんのこと心身ともに健康に育て欲しいという思いを、どう具現化していったらよいかなど、真剣に考え、答えを出して参りたいと思います。どうぞよろしく、お願い致します。

左の詩は、黒田三郎さんの『支度』という詩です。この時期の浮き立つような気持ちを「匂い」から表現しています。そして、最後に「心の支度」を呼びかけています。「心の支度」とは、どのようなものでしょうか。最上級生としての役割、学校の顔としての役割が求められる6年生。6年生を支え、次代のリーダーとしての役割の5年生。高学年の仲間入りをした4年生。低学年の長ともいえる3年生。そして一つ進級し、お兄さんお姉さんとなった2年生。最後にぴかぴかの1年生。というように、それぞれの学年には、それぞれの学年のもつ位置づけがあります。新しいノート、新しい鉛筆、新しい教室、新しい学年。そういったものに囲まれている中で、一人ひとりが考えて、自分なりの「心の支度」を整えていってくれると嬉しく思います。

さて、千秀小学校は今年度創立140周年を迎えます。昨年度中盤より、多くの保護者ボランティアの皆様のご協力をいただき、作業を進めているところです。近日中にその概要を皆様にご紹介していきたいと考えております。合わせまして、今年度1年間、周年行事の冠のもと、保護者や地域の皆様に、多々ご協力を求めることがあります。例えば記念の航

空写真の撮影では、小規模校なるがゆえに、人で描こうとすると児童数の制限が出て参ります。保護者や地域の皆様にも写真に入っていただくことで、児童のデザインの幅を広げることができます。せっかくの周年行事の機会です。学校だけでお祝いして終わるのでなく、広く家庭や地域の皆様のご助力を進め、今まで以上に保護者・地域と一体化した千秀小学校をつかっていきたいと考えています。そのためには周年行事だけにとどまらず、学校が考えている子ども達の教育をはじめとして、その都度その都度の情報や取り組みを、今まで以上に積極的にお伝えしていきます。家庭や地域の皆様からも、子ども達に対する願いや実情を寄せていただき、学校・家庭・地域が、子ども達のことを、ともに見守り、ともに喜び、ともに悩むことのできる学校にしていきたいと存じます。ご協力よろしくお願い致します。